

中期標準化戦略(平成30年度重点的取組)

専門委員会名	アーキテクチャ部門	企画戦略委員	中野 裕介(KDDI)、榮 浩三(ドコモ)
	3GPP専門委員会	正副委員長	委員長 輿水 敬(ドコモ)、副委員長 田村 利之(NEC)
3GPPで作成される国際標準仕様を、国内で利用するTTC仕様書として制定するためのダウンストリーム作業と、3GPPの主にコアネットワークに関するワークアイテム・スタディアアイテムの状況共有と、技術仕様策定グループ(TSG)レベルの会合状況の共有等を実施しています。			
重点的取組活動と達成目標、達成時期			
H29年度当初計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 3GPP-TSGを中心とした移動通信の国際標準化活動に関する、情報共有と意見交換及び関連技術議論。 ② 3GPPで承認された仕様を、TTC標準として制定(ダウンストリーム活動)、またITU-T/Rへ勧告化を提案。 ③ 年4回(6,10,12,3月)の専門委員会会合の開催、及び年4回(6,10,12,3月)の3GPP仕様書ダウンストリーム・TTC仕様書制定を予定。 ④ 3GPP Release 14以降のSA1/SA2のWork Itemの動向調査活動(内容検討と概要資料の作成、報告)。特に市場の注目度の高いSMARTER(※1)、および5G System Phase 1 (5GS_Ph1)(※2)に注力する。 <p>※1 SMARTER: New Services and Markets Technology Enablers オペレータがサポートすべき新たなサービスのユースケースをスタディすると共に、マーケットのハイレベルな要求条件を明確化する標準化アイテム。</p> <p>※2 5G System: 5G RAT, Non-3GPP RATを含む多種RATを収容可能な新システムアーキテクチャ。SDN、クラウド技術、仮想化技術などを積極的に採用する。5GSは、2つのフェーズに分けて規定する予定であり、Phase 1のアーキテクチャ仕様の完成は、2017年12月を目指している。</p>		
H29年度目標達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ① 3GPP-TSGを中心とした移動通信の国際標準化活動に関する、情報共有と意見交換及び関連技術議論。 ② 3GPPで承認された仕様を、TTC標準として制定(ダウンストリーム活動)、またITU-T/Rへ勧告化を提案。 ③ 年4回(6,10,12,3月)の専門委員会会合の開催、及び年4回(6,10,12,3月)の3GPP仕様書ダウンストリーム・TTC仕様書制定。 ④ 3GPP Release 14～15のSA1/SA2のWork Itemの動向調査活動(内容検討と概要資料の作成、報告)を進めている。 		
H30年度当初計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 3GPP-TSGを中心とした移動通信の国際標準化活動に関する、情報共有と意見交換及び関連技術議論。 ② 3GPPで承認された仕様を、TTC標準として制定(ダウンストリーム活動)、またITU-T/Rへ勧告化を提案。 ③ 年4回(6,10,12,3月)の専門委員会会合の開催、及び年4回(6,10,12,3月)の3GPP仕様書ダウンストリーム・TTC仕様書制定を予定。 ④ 3GPP Release 15以降のSA1/SA2のWork Itemの動向調査活動(内容検討と概要資料の作成、報告)。特に市場の注目度の高い5G System Phase 1 (5GS_Ph1)、及び5G System Phase 2(5GS_Ph2)(※2)に注力する。 		

中期標準化戦略(平成29年度活動報告)

専門委員会名	3GPP専門委員会		登録委員数/会員数	73/(6グループ)/11
主な活動項目	概況指標	H29年度目標(当初計画時)	H29年度実施状況	記事
①アップストリーム、他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への参加状況、連携状況	3GPP	3GPP TSG会合(6, 9, 12月及び3月)	
②ダウンストリーム	ダウンストリーム数	TS:4回 TR:4回 9月よりリリース13仕様制定開始(見込)	TS制定 6月30日実施 (57件) 9月22日実施 (92件) 1月12日実施 (43件) (4月13日実施 (689件)) TR制定: 6月30日実施(1件) 9月22日実施(2件) 1月12日実施(0件) (4月13日実施(36件)) ※Rel14仕様新規ダウンストリーム (4月13日制定)	
③国内標準、仕様書、レポートの作成	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
④プロモーション、普及推進	セミナー	3GPP SA1で標準化中のSMARTER及び、NextGenアーキテクチャ検討等の進捗を俯瞰し5G関連セミナーに寄与	2017年5月31日(水) TTC Workshop「3GPP 5Gアーキテクチャを紐解く～5Gモバイル/IMT-2020におけるキーテクノロジー解説～」を開催	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告	TTCLレポート活動報告	

中期標準化戦略(平成30年度活動計画)

専門委員会・AG名	3GPP専門委員会		登録委員数/会員数	73/(6グループ)/11
主な活動項目	概況指標	H30年度目標(当初計画時)	H30年度実施状況	記事
①アップストリーム、他団体との連携	寄書数	-		
	外部会合への参加状況、連携状況	3GPP		
②ダウンストリーム	ダウンストリーム数	TS:4回 TR:4回 H30年度中にRel14,15仕様制定開始(見込)		
③国内標準、仕様書、レポートの作成	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件		
④プロモーション、普及推進	セミナー	ワークアイテム・スタディアイテム動向調査のTTC内への展開		
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告		

中期標準化戦略(日本における状況とTTC標準化方針)

専門委員会名	3GPP専門委員会	SWG	
他標準化団体の動向	<p>3GPPでは1年半～2年毎に定期的に仕様書リリースセットを発行しており、リリース15として以下の様な機能のワークアイテム・スタディアアイテムが検討されている。これらの機能をはじめ注目度の高い機能の標準化動向を把握し国内標準化に寄与して行く。 (Stage 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Stage 1 of Enhancement of 3GPP support for V2X scenarios • Stage 1 of USOS (Unlicensed Spectrum Offloading System) • Study on Future Railway Mobile Communication System • Stage 1 of MONASTERY • Study on Provision of Access to Local Operator Services <p>(Stage 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Stage 2 of 5G System – Phase 1 • SA2 aspects of EDCE5 (EPC enhancements to support 5G New Radio via Dual Connectivity) • Study on architecture enhancements for 3GPP support of advanced V2X services • EPC support for E-UTRAN Ultra Reliable Low Latency Communication • Study on Complementary Features for Voice services over WLAN • Stage 2 of VoWLAN • Stage 2 of USOS 		
日本における状況 (技術動向、市場動向、 標準化の必要性)	<p>移動通信事業者ではLTE/LTE-Advanced(4G)サービスが定着した。ITU-Rでの次世代移動通信方式(IMT-2020)の仕様策定スケジュールの承認を受け、ITU-TでのFG IMT-2020の活動、NGMN, 欧州5GPPP、中国IMT-2020 Promotion Group、韓国5G Forum等でWhitepaper, Position Paperが出されるなど、国際的に次世代移動通信システムの検討に向けた動きが活発となっている。日本においても、2020年東京オリンピックの開催を大きなマイルストーンとして、2014年9月に5GMFが設立され、次世代システムへの要求条件、ユースケースを示す白書の編纂、実証実験に向けた取り組みが鋭意進められている。次世代モバイルシステムの要求条件では、これまでのセルラー移動体サービスの更なる進化系である一般消費者向けの高速度・大容量サービスに加えて、ミッションクリティカル通信のための高信頼性・低遅延サービス、マシンタイプ通信のための膨大な回線数収容など、新たな収益機会の創出が見込まれる。より広い業界を巻き込んだ戦略的標準化を推進する求心力の一つとして、これまでの実績とノウハウのある3GPPでの次世代システム標準化活動を支援していく。</p>		
TTCの標準化方針	<p>他国内標準化組織との連携による移動通信標準化作業の活性化と促進 移動通信市場の活性化に必要な仕様の標準化に向け、ARIB、CIAJなどの国内通信関連標準化組織との連携やTTC内関連専門委員会との連携を図り標準化活動を進めて行く。 <u>海外の関連標準化組織との連携</u> IEEE, BBF, OMA, GSMA, ITU-R/T等との連携に配慮する。 <u>平成30年度重点活動</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 3GPPで大きく進行中のワークアイテム概要を委員会メンバで連携し把握及び取り纏めを実施。 • 新たなワークアイテム・スタディアアイテム、技術動向、トレンドの全体的な意見交換を実施。 • 次世代移動通信システムに関する動向情報の発信。 • 上記の標準化アイテムの概要を取り纏め資料の活用や情報展開について本委員会で検討・推進する。 		